

出雲国・伯耆国の文化資源を活かした魅力あるまちあるき体験プログラム事業
 【まつえ・まちづくり塾・夢蔵プロジェクト共同事業体・島根県教育庁文化財課・鳥取県立むきばんだ史跡公園】

取組の背景	事業概要
<ul style="list-style-type: none"> 文化資源を展示している施設はいくつかあるが、それらの魅力が限られた人にしか伝わっていない 地域の魅力を伝えることができる人が少ない 魅力ある地域づくりに誰でも参加できる機会がない 	<p>事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化資源を活用したプログラムを開催することで、文化資源の価値が再認識される 「私にできること」が見つかり、地域（文化）を担う人材が育つ プログラム実施者・参加者ともに多様な人が関わることになり、地域ににぎわいが生まれる <p>実施団体と行政それぞれの役割分担</p> <ul style="list-style-type: none"> NPO…活動のための場づくり、ワークショップの開催、プログラムの実施運営、ふりかえりの会の開催、フォーラムの開催、広報 行政…文化資源の提供、情報収集・集約、プログラムの実施運営サポート、フォーラムの開催、広報

主な事業内容	事業の主な成果	工夫・ノウハウ
<p>両県4地区において、「新たな地域資源の発掘」、「人材育成」、「参加者層の広がり」をめざしたまちあるき体験プログラムを実施。 （「ふどきのおか日和」「奥出雲あじわい日和」「よどえまるごと道草日和」「奥日野とっとき日和」）</p> <ul style="list-style-type: none"> プログラムの企画者集め プログラムづくり講座（ワークショップ） 事務局 プログラムガイド・HPの作成 プログラムの実施 ふりかえりの会 4地区合同のフォーラムの開催 	<ul style="list-style-type: none"> 各地でまちあるき体験プログラムが開催され、関わった人が独自で動き出すなど来年度に向けての動きが出てきている 全プログラム数69 企画者64人 参加者約1000人 フォーラム参加者48人（66%が「継続／開催したい」と回答） 新規の参加者層（特に女性）が増加した 県境を越えて実施したことにより、様々な人的ネットワークが構築された 相互に情報交換やまちあるきノウハウの導入を図ることができた 同様プログラムを開催したいという地域も出てきており、両県に波及効果があった 	<ul style="list-style-type: none"> プログラム実施のためのマニュアルを作成し、情報を共有した 各地域ごとに事情は違うので地元の人たちの主体性を尊重して進めていった これまでのように行政側が企画し参加者を募るスタイルではなく、行政や団体に置いた事務局はあくまでもサポートと受付窓口・広報担当とし、個々の体験プログラムは企画者である市民が責任を持って運営する自己採算とした

今後の活動方針

「ふどきのおか」継続開催する方向で調整中 「奥出雲」地元実行委員会が中心となり継続開催する方向
 「よどえ」地元市町も含む実行委員会を組織して継続予定
 「奥日野」日野郡3町を巻き込んで開催する方向で調整中